

東洋大学生命科学部規程

(趣旨)

第 1 条 この規程は、東洋大学学則（以下「学則」という。）に基づき、生命科学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第 2 条 生命科学部は、学則第 4 条の 2 に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第 1 のとおり定める。

(学位授与、教育課程編成・実施並びに入学者の受入の方針)

第 3 条 生命科学部は、学則第 4 条の 3 に基づき、学部及び各学科又は専攻の学位授与に関する方針、教育課程編成・実施に関する方針並びに入学者の受入に関する方針を、別表第 2 のとおり定める。

(教育課程)

第 4 条 生命科学部は、学則第 39 条第 1 項第 1 号から第 5 号に基づき、各学科又は専攻の教育課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第 3 のとおり定める。

(卒業に必要な単位等)

第 5 条 生命科学部は、学則第 52 条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第 4 のとおり定める。

2 生命科学部は、4 年次の必修科目を履修するための条件を、別表第 5 のとおり定める。

(履修上限単位数)

第 6 条 生命科学部は、学則第 42 条第 3 項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を 24 単位とする。

(教育職員その他資格)

第 7 条 学則第 45 条に基づき、生命科学部で取得できる資格は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 教育職員となる資格

2 前項第 1 号の資格において、生命科学部で取得することができる教育職員免許状の種類及び教科は、次表のとおりとする。

学科及び専攻等	免許状の種類及び教科	
	中学校教諭 1 種免許状	高等学校教諭 1 種免許状
生命科学科	理科	理科
応用生物科学科	理科	理科

第 8 条 学則第 45 条第 2 項に基づき、生命科学部で資格を取得しようとする者は、次の各号に定める所定の授業科目の単位を取得しなければならない。

(1) 教育職員の資格 別表 6 に掲げる授業科目の単位を取得

(改正)

第9条 この規程の改正は、学長が生命科学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附 則

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成27年度以前の入学生については、なお従前の例による。

別表第1 教育研究上の目的

生命科学部

<p>1.人材の養成に関する目的</p> <p>生命科学は、生命現象を遺伝子・分子レベルから細胞レベル、さらに個体レベルでも明らかにし、地球社会に貢献することを目的とする学問領域です。この生命科学を教育研究することにより、生命の総合的理解の上に立って、地球社会の発展に貢献する創造的思考能力、かつ倫理観を併せ持った人材を育成します。</p>
<p>2.学生に修得させるべき能力等の教育目標</p> <p>生命科学における「生命」「環境」「食」を3大テーマとし、「生命科学科」「応用生物科学科」の2学科で各々特徴ある教育に取り組みます。特に、本学部の特色として極限環境微生物分野、植物分野、食分野の教育に力点を置くとともに、ヒトを含めた動物分野における教育も行います。これにより、学生に生命科学の学問領域全般を体系的に修得させ、実社会での問題を解決する能力、新しい分野を切り拓いていく能力などを身につけさせることを教育目標としています。</p>

生命科学部生命科学科

<p>1.人材の養成に関する目的</p> <p>極限環境に生息する微生物から人間がもつ高度な脳に至るまで、生命現象には未解明の部分が多く残されています。バイオサイエンスの進歩は、“いのち”の謎を解き明かすだけでなく、豊かな人類社会の形成や地球環境の保全に貢献する技術を提供できることから、新たな産業の創成にも欠かせないものとなっています。生命科学科では、「先端サイエンスの幅広い知識と技術を修得し、地球社会の諸問題に対応でき、かつ広い分野で活躍できる人材を育成する」ことを目的にしています。</p> <p>具体的には、将来の生命科学を探究する研究者・技術者、高度な生命科学の知識・技術や思考を生かせる職業に国内外で携わる人材、及び、次代を担う生徒達の教育に携わる教員を育成します。</p>
<p>2.学生に修得させるべき能力等の教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 生命現象を分子レベル、細胞レベル、個体レベル、さらには地球環境レベルで理解する幅広い知識を修得する。 2) “いのち”の不思議に迫るための生命科学の様々な技術を修得する。 3) 生命科学の未知の領域に挑戦する論理的かつ独創的な考え方ができる。 4) 地球生物社会全体と“いのち”に対する深い生命倫理観を醸成させる。 5) 国際的に活躍できるよう、異文化に対する理解や語学力を培う。

生命科学部応用生物科学科

<p>1.人材の養成に関する目的</p> <p>応用生物科学科は、学部の教育理念である「生命の総合的理解の上に立って、地球社会の発展に貢献する創造的思考能力、かつ高い倫理観を合わせもった人材を育成する」に沿って、生物が持っている優れた機能を活用して、環境、健康、資源、食糧などの社会の諸問題を解決し、人類の持続的発展を目指す国際的な人材の育成を目的としています。また、地域産業にも目を向け、地域社会の活性化にも貢献するベンチャー的行動力を持った人材教育を目指しています。</p>
<p>2.学生に修得させるべき能力等の教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会人としての一般教養、社会的マナーを身につける。 2) 生命科学とその応用に関する幅広い専門知識を修得する。 3) 専門知識を社会に還元するための実践的能力、技術を修得する。 4) 産業界の活性化に貢献できる知識と行動力を身につける。 5) 国際的に活躍できるように、コミュニケーション能力や語学力を培う。 6) 物事を多面的かつ論理的に考察し、その内容を的確に情報発信できる能力を身につける。

別表第2 学位授与、教育課程編成・実施、入学者の受入に関する方針

生命科学部

1.学位授与に関する方針

極限環境に生育する生物からヒトにいたるまでの生命現象に関する基礎知識と生命現象を解析する基礎的技術を修得した上で、専門的な知識を獲得すること。その上で、創造的思考能力を磨くことにより、「生命」「環境」「食」の各分野における先端科学や高度な技術開発に挑戦していくことができること。さらに、高い倫理性と幅広い視野、豊かな人間性と自立心を備え、地球社会の発展に貢献するという強い意志を有すること。

生命科学部生命科学科

1.学位授与に関する方針

学位授与の要件は次のとおりです。

- (1) 幅広い教養と“いのち”に対する深い生命倫理観を持ち、生命科学を学んだ者としての責任を持った行動をとることができる。
- (2) 生命現象を分子レベルから地球環境レベルで理解する専門知識と生命科学の基本的な実験技術を有し、幅広い分野の職業人として活躍できる。
- (3) 未知の領域に挑戦する論理的かつ独創的な考え方ができ、将来の生命科学を探究する研究者・技術者をめざすことができる。

2.教育課程編成・実施に関する方針

- (1) 生命科学科では、1年次の必修科目として、生命科学を学ぶ上での基盤となる基礎生物学と基礎化学、及び自ら学修する力を養成する生命科学ゼミナールⅠ・Ⅱを配置しています。
- (2) 学年進行にともない生命科学の様々な技術を修得する化学実験、生物学実験、生命科学実験Ⅰ・Ⅱを経て、卒業研究、卒業論文に発展するように科目を配置しています。
- (3) さらに、先端バイオサイエンスをより深く学修するために、専門科目内に「バイオ分子科学分野」、「生体機能制御科学分野」、「ゲノム・環境応答科学分野」、「極限環境生物化学分野」の4つの科学分野を専攻領域に設けています。
- (4) “いのち”を正しく理解するための生命倫理・生命哲学の科目や、バイオ分野で国際的に活躍できる人材育成のための外国語科目も基盤教育科目の中に配置しています。これらのカリキュラムに沿って生命科学の幅広い基礎知識と技術を学び、将来の生命科学を探究する研究者及び高度な生命科学の知識・技術を生かせる職業に携わる人材を育成します。

3.入学者の受入に関する方針

生命科学は「いのちの不思議」あるいは「いのち」そのものの解明を主要なテーマとし、そこから見いだされる新しい発見を、豊かな人類社会の形成や地球環境の保全に貢献する発想や技術として提供することを使命としています。「生命」には、私達の常識では到底不可能としか考えられない極限環境のもとに生息する生物や高度に分化する細胞などの様々な「不思議」があります。これらの生命から学ぶことあるいは学ばなければならないことが、まだまだたくさんあるのです。生命科学科では、理学、工学、農学、薬学や医学などの学問領域にこだわることなく、「先端サイエンスの幅広い知識と技術を修得し、地球社会の諸問題に対応でき、かつ広い分野で活躍できる人材を育成する」ことを教育上の目的としています。そこで、私達は次のような人々を幅広く受け入れたいと考えます。

- (1) 生物が好きな人、生命現象に強い興味・関心を持つ人
- (2) 生命科学の基盤となる知識や技術を系統的に学修したい人
- (3) 生命科学の知識・技術や思考を生かせる職業に従事し、地球社会の諸問題の解決に貢献したいと考える人
- (4) 新たな視点で生命科学を切り拓く独創的な研究者を目指す意欲のある人

1.学位授与に関する方針

応用生物科学科の学位授与の要件は次のとおりです。

(態度)

(1) 東洋大学の建学の理念である「独立自活」、「知徳兼全」を理解し、実行できる。

(知識・理解)

(2) 生命科学とその応用に関する幅広い専門知識を有する。

(3) 専門知識を社会に還元するための実践的能力を有する。

(思考・判断)

(4) 生命科学の知識や技術を活かし、環境、健康、資源、食糧などの人類社会の諸問題を解決するための課題探求能力および問題解決能力を有する。

(関心・意欲)

(5) 人類社会の諸問題に関心をもち、これら問題の解決のため生命科学の知識や技術を活かす意欲がある。

(技能・表現)

(6) 物事を多面的かつ論理的に考察し、その内容を的確に情報発信し、他者とのコミュニケーションを通じて、より良い社会の構築に貢献する能力を有する。

2.教育課程編成・実施に関する方針

応用生物科学科では、「生物が持っている優れた機能を活用」する能力を有する国際人、ベンチャー的行動力を有する人材を育てるという学科の教育目標の実現を目指して、以下のような教育を実施しています。

(1) 本学の建学の精神”諸学の基礎は哲学にあり”を涵養するために基盤教育科目を配置し、グローバル人材を育成するとともに、キャリア支援に力を入れています。

(2) 生命科学に関する基礎知識を学修する科目群を1年次の必修科目に配置するほか、自身の方向性・将来性を模索するための手がかりとして「応用生物科学序論」を開講しています。

(3) 2年次以降、バイオテクノロジーに関する基礎技術や専門知識を身につけるための必修科目および選択必修科目を開講しています。さらに、バイオテクノロジーに関する専門知識を系統的に学ぶことができるよう、「細胞利用コース」、「微生物利用コース」、「環境科学コース」の3つのコースを設定し、各コースの専門分野についてより深く学修します。

(4) 4年次では、1年次から3年次までに学んだことを基にして、卒業研究の実施や、卒業論文の執筆を通じ、生物の機能を活用できる専門家を育成します。

3.入学者の受入に関する方針

応用生物科学科は、“未来を拓くバイオ”をスローガンに、生物の持っているさまざまな働きを利用して、環境、健康、資源、食糧などの社会問題の解決に貢献できる行動力のある人材の育成を目指しています。このため、次のような学生を受け入れたいと考えています。

(知識・理解)

(1) 高等学校で履修する理科(化学・生物)、外国語、数学などについて、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・技能・表現)

(2) 自分が学習した内容を的確に表現し、伝えることができる。

(関心・意欲)

(3) 環境、健康、資源、食糧などの諸問題に関心をもち、これら問題の解決のため社会に貢献する意欲がある。

(態度)

(4) 対話などにより他者との相互理解に努め、自ら学び行動する態度を有する。

別表第3 教育課程

(1) 生命科学部 基盤教育科目

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択必修	井上円了と東洋大学	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命倫理	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	哲学入門	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命論	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	生命哲学	1~4	2	
哲学・思想	選択必修	スポーツ哲学	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	ライフサイエンス基礎Ⅰ	1	1	
自然・環境・生命	選択必修	ライフサイエンス基礎Ⅱ	1	1	
自然・環境・生命	選択必修	ライフサイエンス基礎Ⅲ	1	1	
自然・環境・生命	選択必修	現代生物学	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	科学技術論	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	生命科学史	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	現代化学	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	情報処理基礎	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	数学の世界	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	現代物理	1~4	2	
自然・環境・生命	選択必修	情報処理演習	1~4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	異文化コミュニケーション	1~4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	文化人類学入門	1~4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	中国語で学ぶ「中国食文化」	1~4	2	
日本と世界の文化・歴史	選択	欧米の文学と文化	1~4	2	
現代・社会	選択	経済学入門	1~4	2	
現代・社会	選択	日本国憲法	1~4	2	
現代・社会	選択	心理学	1~4	2	
現代・社会	選択	産官学連携概論	1~4	2	
現代・社会	選択	人文地理学入門	1~4	2	
現代・社会	選択	社会学入門	1~4	2	
現代・社会	選択	異文化と社会事情	1~4	2	
現代・社会	選択	スポーツ社会学	1~4	2	
現代・社会	選択	政治学入門	1~4	2	
現代・社会	選択	法学入門	1~4	2	
現代・社会	選択	ソーシャルサーベイ概論	1~4	2	
スポーツと健康	選択	スポーツと健康Ⅰ	1~4	2	
スポーツと健康	選択	スポーツと健康Ⅱ	1~4	2	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際ⅠA(テニス)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際ⅠB(バレーボール)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際ⅡA(サッカー)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際ⅡB(バスケットボール)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際Ⅲ(陸上)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際Ⅳ(水泳)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際Ⅴ(武道)	1~4	1	
スポーツと健康	選択	スポーツの理論と実際Ⅵ(器械運動)	1~4	1	
総合	選択	総合Ⅰ	1~4	2	
総合	選択	総合Ⅱ	1~4	2	
総合	選択	レポート記述法	1~4	2	
文化間コミュニケーション	必修	英語Ⅰ	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語Ⅱ	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語コミュニケーションⅠ	1	1	
文化間コミュニケーション	必修	英語コミュニケーションⅡ	1	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	TOEIC演習	2~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	英語スピーチ&プレゼンテーション	2~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	イングリッシュ・プラクティス	2~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	英語上級Ⅰ	2~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	英語上級Ⅱ	2~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	中国語Ⅰ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	中国語Ⅱ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	ハングルⅠ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	ハングルⅡ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	フランス語Ⅰ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	フランス語Ⅱ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	スペイン語Ⅰ	1~4	1	
文化間コミュニケーション	選択必修	スペイン語Ⅱ	1~4	1	

区分	必修・選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法	
文化間コミュニケーション	選択必修	日本語Ⅰ	1	1	外国人留学生のみ履修可	
文化間コミュニケーション	選択必修	日本語Ⅱ	2	1		
文化間コミュニケーション	選択必修	日本語と日本社会	1	1		
文化間コミュニケーション	選択必修	日本語と日本文化	2	1		
社会人基礎科目	選択	キャリアデザインⅠ	1	2		
社会人基礎科目	選択	キャリアデザインⅡ	2	2		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	English for Academic Purposes A Listening/Speaking	1～4	2		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	English for Academic Purposes B Reading/Writing	1～4	2		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad College Study Skills	1～4	1		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad Basic Academic Writing	1～4	1		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	Pre-Study Abroad Academic Essay Writing	1～4	1		
留学支援(英語特別教育科目)	選択	Business English Communication	1～4	2		
留学支援(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅠ	1～4	4	協定校並びに海外学生交換コンソーシアム加盟大学等からの留学生に対する日本語・日本文化科目	
留学支援(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅡ	1～4	4		
留学支援(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅢ	1～4	4		
留学支援(日本語科目)	選択	Integrated JapaneseⅣ	1～4	4		
留学支援(日本語科目)	選択	Project WorkⅠ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Project WorkⅡ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Project WorkⅢ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Project WorkⅣ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅠ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅡ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅢ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Reading and CompositionⅣ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅠ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅡ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅢ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Listening ComprehensionⅣ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅠ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅡ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅢ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Kanji LiteracyⅣ	1～4	1		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Culture and Society A	1～4	2		
留学支援(日本語科目)	選択	Japanese Culture and Society B	1～4	2		
留学支援(日本語科目)	選択	Introduction to Japanology A	1～4	2		
留学支援(日本語科目)	選択	Introduction to Japanology B	1～4	2		
国際人の形成	選択	留学のすすめ	1～4	2		
国際人の形成	選択	国際キャリア概論	1～4	2		
国際人の形成	選択	海外研修Ⅰ	1～4	2		
国際人の形成	選択	海外研修Ⅱ	1～4	2		
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅰ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅱ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅲ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外研修Ⅳ	1～4	1		
国際人の形成	選択	海外実習Ⅰ	1～4	2		
国際人の形成	選択	海外実習Ⅱ	1～4	2		
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅰ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅱ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅲ	1～4	1		
国際人の形成	選択	短期海外実習Ⅳ	1～4	1		

(2)-1 生命科学部生命科学科 専門教育科目

必修・選択の別	区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
必修	-	生命科学ゼミナールⅠ	1	2	
必修	-	基礎化学	1	2	
必修	-	基礎生物学	1	2	
必修	-	化学実験	1	3	
必修	-	基礎生化学	1	2	
必修	-	生物学実験	2	3	
必修	-	生命科学実験Ⅰ	2	3	
必修	-	基礎分子生物学	2	2	
必修	-	生命科学英語Ⅰ	2	2	
必修	-	生命科学実験Ⅱ	3	3	
必修	-	生命科学特別講義Ⅰ	3	2	
必修	-	生命科学英語Ⅱ	3	2	
必修	-	卒業研究	4	2	
必修	-	卒業論文	4	2	
必修	-	生命科学輪講Ⅰ	4	2	
選択必修	基礎科学	物理実験	1	3	
選択必修	基礎科学	分析化学	1	2	
選択必修	基礎科学	技術倫理	1	2	
選択必修	基礎科学	物理Ⅰ	1	2	
選択必修	基礎科学	物理Ⅱ	1	2	
選択必修	基礎科学	学外実習	1~4	2	
選択必修	基礎科学	機器分析	2	2	
選択必修	基礎科学	物理化学	2	2	
選択必修	基礎科学	生物統計学	2	2	
選択必修	基礎科学	生物物理学	2	2	
選択必修	基礎科学	分子遺伝学	2	2	
選択必修	基礎科学	細胞学	3	2	
選択必修	基礎科学	分子細胞生物学	3	2	
選択必修	基礎科学	知的財産所有権法	3	2	
選択必修	基礎科学	核酸化学	3	2	
選択必修	基礎科学	生命科学ゼミナールⅡ	3	2	
選択必修	基礎科学	実務研修	3	2	
選択必修	基礎科学	生命科学特別講義Ⅱ	3	2	
選択必修	基礎科学	生命科学輪講Ⅱ	4	2	
選択必修	基礎科学	有機化学	1	2	
選択必修	バイオ分子科学分野	タンパク質科学	2	2	
選択必修	バイオ分子科学分野	生物有機化学	2	2	
選択必修	バイオ分子科学分野	糖鎖科学	3	2	
選択必修	バイオ分子科学分野	メディカルバイオテクノロジー	3	2	
選択必修	バイオ分子科学分野	バイオナノ科学	3	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	細胞生理学	1	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	発生学	1	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	動物生理学	2	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	神経科学	2	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	再生医科学	2	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	脳科学	3	2	
選択必修	生体機能制御科学分野	細胞制御学	3	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	植物科学	1	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	ゲノム科学	2	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	植物生理生化学	2	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	バイオインフォマティクス	3	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	植物分子生物学	3	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	遺伝子工学	3	2	
選択必修	ゲノム・環境応答科学分野	植物病理学	3	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	基礎微生物学	1	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	極限環境生命科学	2	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	地球環境学	2	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	微生物生理学	2	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	微生物生態学	3	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	極限環境微生物学	3	2	
選択必修	極限環境生物科学分野	バイオマス	3	2	
選択	-	地学Ⅰ	1	2	
選択	-	無機化学	1	2	
選択	-	生命工学概論	1	2	

必修・選択の別	区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
選択	-	食育論	1	2	
選択	-	人体の構造と機能	1	2	
選択	-	微分積分学	1	2	
選択	-	数理統計学	1	2	
選択	-	応用微生物学	1	2	
選択	-	エコシステム学	1	2	
選択	-	応用生物科学序論	1	2	
選択	-	解析学	1	2	
選択	-	地学概論(実験を含む)	2	2	
選択	-	水処理工学	2	2	
選択	-	線形数学	2	2	
選択	-	基礎化学工学	2	2	
選択	-	バイオマテリアル	2	2	
選択	-	基礎生物化学工学	2	2	
選択	-	食品化学	2	2	
選択	-	フードエンジニアリング	2	2	
選択	-	地学Ⅱ	2	2	
選択	-	古生物学	2	2	
選択	-	薬物生体作用学	2	2	
選択	-	植物機能利用学	2	2	
選択	-	植物生理学	2	2	
選択	-	細胞工学	2	2	
選択	-	公衆衛生学	2	2	
選択	-	バイオエネルギー	3	2	
選択	-	システム代謝バイオロジー	3	2	
選択	-	安全・危機管理学	3	2	
選択	-	プロバイオティクス	3	2	
選択	-	機能食品科学	3	2	
選択	-	環境分析化学	3	2	

(2)-2 生命科学部応用生物科学科 専門教育科目

必修・選択の別	区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
必修	-	基礎化学	1	2	
必修	-	基礎生物学	1	2	
必修	-	生化学Ⅰ	1	2	
必修	-	化学実験	1	3	
必修	-	応用生物科学序論	1	2	
必修	-	生物学実験	2	3	
必修	-	生命工学実験Ⅰ	2	3	
必修	-	生化学Ⅱ	2	2	
必修	-	分子生物学	2	2	
必修	-	基礎遺伝子工学	2	2	
必修	-	生命工学実験Ⅱ	3	3	
必修	-	生命科学英語	3	2	
必修	-	卒業研究	4	2	
必修	-	卒業論文	4	2	
必修	-	応用生物科学輪講Ⅰ	4	2	
必修	-	応用生物科学輪講Ⅱ	4	2	
選択必修	基礎科学	生命工学概論	1	2	
選択必修	基礎科学	無機化学	1	2	
選択必修	基礎科学	微分積分学	1	2	
選択必修	基礎科学	解析学	1	2	
選択必修	基礎科学	物理実験	1	3	
選択必修	基礎科学	技術倫理	1	2	
選択必修	基礎科学	有機化学	1	2	
選択必修	基礎科学	基礎統計学(演習)	1	2	
選択必修	基礎科学	基礎化学工学	2	2	
選択必修	基礎科学	基礎生物物理化学	2	2	
選択必修	基礎科学	タンパク質科学	2	2	
選択必修	基礎科学	分析化学	2	2	
選択必修	基礎科学	天然物有機化学	2	2	
選択必修	基礎科学	薬物生体作用学	2	2	
選択必修	基礎科学	バイオマテリアル	2	2	
選択必修	基礎科学	実務研修	3	2	
選択必修	基礎科学	機器分析	3	2	
選択必修	基礎科学	知的財産所有権法	3	2	
選択必修	基礎科学	システム代謝バイオロジー	3	2	
選択必修	基礎科学	バイオ情報科学	3	2	
選択必修	細胞利用コース	基礎細胞生物学	1	2	
選択必修	細胞利用コース	細胞生物学	2	2	
選択必修	細胞利用コース	細胞工学	2	2	
選択必修	細胞利用コース	植物機能利用学	2	2	
選択必修	細胞利用コース	植物生理学	2	2	
選択必修	細胞利用コース	タンパク質工学	3	2	
選択必修	細胞利用コース	植物バイオテクノロジー	3	2	
選択必修	細胞利用コース	植物育種学	3	2	
選択必修	微生物利用コース	応用微生物学	1	2	
選択必修	微生物利用コース	極限環境微生物学	1	2	
選択必修	微生物利用コース	微生物利用学	2	2	
選択必修	微生物利用コース	微生物生態学	2	2	
選択必修	微生物利用コース	基礎生物化学工学	2	2	
選択必修	微生物利用コース	バイオエネルギー	3	2	
選択必修	微生物利用コース	極限酵素学	3	2	
選択必修	環境科学コース	環境修復学	1	2	
選択必修	環境科学コース	エコシステム学	1	2	
選択必修	環境科学コース	生態毒性学	2	2	
選択必修	環境科学コース	地球環境情報学	2	2	
選択必修	環境科学コース	環境微生物学	2	2	
選択必修	環境科学コース	水処理工学	2	2	
選択必修	環境科学コース	環境分子生物学	3	2	
選択必修	環境科学コース	環境分析化学	3	2	
選択必修	環境科学コース	微生物処理技術	3	2	
選択	-	数理統計学	1	2	
選択	-	物理Ⅰ	1	2	
選択	-	物理Ⅱ	1	2	
選択	-	地学Ⅰ	1	2	

必修・選択の別	区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
選択	-	発生学	1	2	
選択	-	食育論	1	2	
選択	-	人体の構造と機能	1	2	
選択	-	線形数学	2	2	
選択	-	極限環境生命科学	2	2	
選択	-	地域産業論	2	2	
選択	-	地学概論(実験を含む)	2	2	
選択	-	分子遺伝学	2	2	
選択	-	生物物理学	2	2	
選択	-	動物生理学	2	2	
選択	-	神経科学	2	2	
選択	-	地球環境学	2	2	
選択	-	再生医科学	2	2	
選択	-	古生物学	2	2	
選択	-	基礎栄養学	2	2	
選択	-	食品品質管理学	2	2	
選択	-	地学Ⅱ	2	2	
選択	-	微生物生理学	2	2	
選択	-	物理化学	2	2	
選択	-	メディカルバイオテクノロジー	3	2	
選択	-	生体高分子化学	3	2	
選択	-	安全・危機管理学	3	2	
選択	-	バイオナノ科学	3	2	
選択	-	化粧品化学	3	2	
選択	-	核酸化学	3	2	
選択	-	脳科学	3	2	
選択	-	糖鎖科学	3	2	
選択	-	機能食品科学	3	2	
選択	-	食品衛生学	3	2	
選択	-	生命科学特別講義Ⅰ	3	2	
選択	-	生命科学特別講義Ⅱ	3	2	

(3)-1 生命科学部生命科学科 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目名	配当学年	単位数	履修方法
生命科学部	応用生物科学科	基礎細胞生物学	1	2	
生命科学部	応用生物科学科	環境修復学	1	2	
生命科学部	応用生物科学科	基礎遺伝子工学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	基礎生物物理化学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	天然物有機化学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	植物生理学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	微生物利用学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	生態毒性学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	地球環境情報学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	環境微生物学	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	地域産業論	2	2	
生命科学部	応用生物科学科	バイオ情報科学	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	タンパク質工学	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	植物バイオテクノロジー	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	植物育種学	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	極限酵素学	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	微生物処理技術	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	生体高分子化学	3	2	
生命科学部	応用生物科学科	化粧品化学	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードコーディネート論	1	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品流通経済論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードスペシャリスト特別講義	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品学概論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品物性論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品科学特別講義	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	調理と美味しさの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	味とニオイの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品添加物概論	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	HACCP論	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	スパイスの科学	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	マーケティング入門	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	ソムリエ講座	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	感染症学	3	2	

(3)-2 生命科学部応用生物科学科 他学部他学科開放科目

学部	学科等	科目名	配当学年	単位数	履修方法
生命科学部	生命科学科	ゲノム科学	2	2	
生命科学部	生命科学科	植物生理生化学	2	2	
生命科学部	生命科学科	細胞学	3	2	
生命科学部	生命科学科	分子細胞生物学	3	2	
生命科学部	生命科学科	細胞制御学	3	2	
生命科学部	生命科学科	バイオインフォマティクス	3	2	
生命科学部	生命科学科	植物分子生物学	3	2	
生命科学部	生命科学科	遺伝子工学	3	2	
生命科学部	生命科学科	バイオマス	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードコーディネート論	1	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品流通経済論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードスペシャリスト特別講義	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品学概論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	フードエンジニアリング	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品物性論	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品科学特別講義	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	調理と美味しさの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品化学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	味とニオイの科学	2	2	
食環境科学部	食環境科学科	食品添加物概論	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	HACCP論	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	スパイスの科学	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	マーケティング入門	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	ソムリエ講座	3	2	
食環境科学部	食環境科学科	感染症学	3	2	

(4) 生命科学部 教職科目(卒業要件外)

区分	科目名	配当学年	単位数	履修方法
教職に関する科目	教職概論	1	2	
教職に関する科目	教育学概論	1	2	
教職に関する科目	教育の制度と経営	1	2	
教職に関する科目	教育心理学	2	2	
教職に関する科目	教育課程論	1	2	
教職に関する科目	理科指導法ⅠA	3	2	
教職に関する科目	理科指導法ⅠB	3	2	
教職に関する科目	理科指導法ⅡA	3	2	
教職に関する科目	理科指導法ⅡB	3	2	
教職に関する科目	道徳教育論	2	2	
教職に関する科目	特別活動の理論と方法	2	2	
教職に関する科目	教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2	2	
教職に関する科目	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	
教職に関する科目	教育相談	2	2	
教職に関する科目	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	
教職に関する科目	教育実習Ⅱ(事前・事後指導を含む)	4	3	
教職に関する科目	教職実践演習(中・高)	4	2	

別表第4 卒業に必要な単位等

学科	単位数
生命科学部生命科学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 留学支援科目を除き、全体で20単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 自然・環境・生命において4単位以上修得すること。 ④ 文化間コミュニケーションにおいて必修科目4単位修得および選択必修科目2単位以上修得すること。 <p>3) 学科専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全体で90単位以上修得すること。 ② 必修科目を34単位修得すること。 ③ 選択必修科目から、基礎科学で8単位以上、バイオ分子科学分野、生体機能制御科学分野、ゲノム・環境応答科学分野、極限環境生物科学分野の4分野すべての分野から4単位以上、計40単位以上修得すること。
生命科学部応用生物科学科	<p>1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。</p> <p>2) 基盤教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 留学支援科目を除き、全体で20単位以上修得すること。 ② 哲学・思想において4単位以上修得すること。 ③ 自然・環境・生命において4単位以上修得すること。 ④ 文化間コミュニケーションにおいて必修科目4単位修得および選択必修科目2単位以上修得すること。 <p>3) 学科専門科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全体で90単位以上修得すること。 ② 必修科目を36単位修得すること。 ③ 選択必修科目から、基礎科学で16単位以上、細胞利用、微生物利用、環境科学の3コースの中から1コースを選択し6単位以上、合計22単位以上修得すること。

別表第5 4年次の必修科目等を履修するための条件

4年次配当の必修科目を履修するためには、下記を満たさなければならない。

学科	単位数
生命科学部生命科学科	1) 卒業要件となる科目で105単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目、哲学・思想より4単位以上、自然・環境・生命より4単位以上を修得すること。 3) 基盤教育科目、文化間コミュニケーションの必修科目4単位及び選択必修科目2単位以上を修得すること。 4) 上記2)、3)を含み基盤教育科目で20単位以上を修得すること。 5) 専門科目の必修科目28単位、選択必修科目を基礎科学および4分野すべてについてそれぞれ4単位以上修得すること。 6) 上記5)を含み専門科目で70単位以上を修得すること。
生命科学部応用生物科学科	1) 卒業要件となる科目で110単位以上を修得すること。 2) 基盤教育科目、哲学・思想より4単位以上、自然・環境・生命より4単位以上を修得すること。 3) 基盤教育科目、文化間コミュニケーションの必修科目4単位及び選択必修科目2単位以上を修得すること。 4) 上記2)、3)を含み基盤教育科目で20単位以上を修得すること。 5) 専門科目の必修科目26単位、選択必修科目を基礎科学16単位、各自のコース6単位を含み22単位以上修得すること。

別表第6 教育職員免許状取得のための授業科目及び単位数

生命科学部生命科学科

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツの理論と実際ⅠA(テニス)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅡA(サッカー)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅠB(バレーボール)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅡB(バスケットボール)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅲ(陸上)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅳ(水泳)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅴ(武道)	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅵ(器械運動)	1～4	1	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ	1	1	必修
		英語Ⅱ	1	1	必修
情報機器の操作	2単位	情報処理基礎	1～4	2	選択必修
		情報処理演習	1～4	2	選択必修

(1) 中学校教諭第1種免許状(理科)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育学概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	16単位	教育課程論	1	2	必修
		理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	必修
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	必修
		道徳教育論	2	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2	2	必修
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育実習	5単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	35単位	—	—	—	

②教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理Ⅰ	1	2	必修
		物理Ⅱ	1	2	必修
		現代物理	1～4	2	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	物理実験	1	3	必修
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		有機化学	1	2	必修
		無機化学	1	2	
		分析化学	1	2	
		基礎化学工学	2	2	
		物理化学	2	2	
		現代化学	1～4	2	
		化学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	化学実験	1
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		発生学	1	2	
		分子遺伝学	2	2	必修
		動物生理学	2	2	
		基礎分子生物学	2	2	
		植物分子生物学	3	2	
		現代生物学	1～4	2	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	生物学実験	2	3	必修
地学	4単位	地学Ⅰ	1	2	必修
		地学Ⅱ	2	2	必修

地学実験(コンピュータ活用を含む。)	2単位	地学概論(実験を含む)	2	2	必修
小計	27単位	—	—	—	
合計	62単位	①、②の合計で62単位を修得すること。			

(2) 高等学校教諭第1種免許状(理科)

① 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育学概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	教育課程論	1	2	必修
		理科指導法 I A	3	2	必修
		理科指導法 I B	3	2	
		理科指導法 II A	3	2	必修
		理科指導法 II B	3	2	
		道徳教育論	2	2	
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実習	3単位	教育実習 I (事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目 選択必修
		教育実習 II (事前・事後指導を含む)	4	3	
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	27単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

② 教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理 I	1	2	必修
		物理 II	1	2	必修
		現代物理	1~4	2	
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		有機化学	1	2	必修
		無機化学	1	2	
		分析化学	1	2	
		基礎化学工学	2	2	
		物理化学	2	2	
		現代化学	1~4	2	
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		発生学	1	2	
		分子遺伝学	2	2	必修
		動物生理学	2	2	
		基礎分子生物学	2	2	
		植物分子生物学	3	2	
地学	4単位	地学 I	1	2	必修
		地学 II	2	2	必修
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	11単位	物理実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
小計	27単位	—	—	—	

合計	62単位	①、②の合計で62単位を修得すること。			
----	------	---------------------	--	--	--

生命科学部応用生物科学科

免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
日本国憲法	2単位	日本国憲法	1～4	2	必修
体育	2単位	スポーツの理論と実際ⅠA（テニス）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅡA（サッカー）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅠB（バレーボール）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際ⅡB（バスケットボール）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅲ（陸上）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅳ（水泳）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅴ（武道）	1～4	1	選択必修
		スポーツの理論と実際Ⅵ（器械運動）	1～4	1	選択必修
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ	1	1	必修
		英語Ⅱ	1	1	必修
情報機器の操作	2単位	情報処理基礎	1～4	2	選択必修
		情報処理演習	1～4	2	選択必修

(1) 中学校教諭第1種免許状(理科)

①教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育学概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
		教育課程論	1	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	16単位	理科指導法ⅠA	3	2	必修
		理科指導法ⅠB	3	2	必修
		理科指導法ⅡA	3	2	必修
		理科指導法ⅡB	3	2	必修
		道徳教育論	2	2	必修
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2	2	必修
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2
教育実習	5単位	教育実習Ⅰ(事前・事後指導を含む)	4	5	必修
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	35単位	—	—	—	

②教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理Ⅰ	1	2	必修
		物理Ⅱ	1	2	必修
		現代物理	1～4	2	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	物理実験	1	3	必修
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		無機化学	1	2	
		有機化学	1	2	必修
		基礎化学工学	2	2	
		分析化学	2	2	
		物理化学	2	2	
		生体高分子化学	3	2	
		現代化学	1～4	2	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	化学実験	1	3	必修
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		発生学	1	2	
		分子生物学	2	2	
		動物生理学	2	2	必修
		植物生理学	2	2	
		現代生物学	1～4	2	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	3単位	生物学実験	2	3	必修
地学	4単位	地学Ⅰ	1	2	必修
		地学Ⅱ	2	2	必修

地学実験(コンピュータ活用を含む。)	2単位	地学概論(実験を含む)	2	2	必修
小計	27単位	—	—	—	
合計	62単位	①、②の合計で62単位を修得すること。			

(2) 高等学校教諭第1種免許状(理科)

① 教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
教職の意義等に関する科目	2単位	教職概論	1	2	必修
教育の基礎理論に関する科目	6単位	教育学概論	1	2	必修
		教育の制度と経営	1	2	必修
		教育心理学	2	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	10単位	教育課程論	1	2	必修
		理科指導法 I A	3	2	必修
		理科指導法 I B	3	2	
		理科指導法 II A	3	2	必修
		理科指導法 II B	3	2	
		道徳教育論	2	2	
		特別活動の理論と方法	2	2	必修
		教育方法論(情報機器及び教材の活用を含む)	2	2	必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	4単位	生徒指導論(進路指導論を含む)	2	2	必修
		教育相談	2	2	必修
教育実習	3単位	教育実習 I (事前・事後指導を含む)※	4	5	いずれか1科目 選択必修
		教育実習 II (事前・事後指導を含む)	4	3	
教職実践演習	2単位	教職実践演習(中・高)	4	2	必修
小計	27単位	—	—	—	

※高等学校教諭の免許状申請の際には3単位として申請

② 教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学開講科目	配当学年	単位数	履修方法
物理学	4単位	物理 I	1	2	必修
		物理 II	1	2	必修
		現代物理	1~4	2	
化学	4単位	基礎化学	1	2	必修
		無機化学	1	2	
		有機化学	1	2	必修
		基礎化学工学	2	2	
		分析化学	2	2	
		物理化学	2	2	
		生体高分子化学	3	2	
		現代化学	1~4	2	
生物学	4単位	基礎生物学	1	2	必修
		発生学	1	2	
		分子生物学	2	2	
		動物生理学	2	2	必修
		植物生理学	2	2	
現代生物学	1~4	2			
地学	4単位	地学 I	1	2	必修
		地学 II	2	2	必修
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	11単位	物理実験	1	3	必修
		化学実験	1	3	必修
		生物学実験	2	3	必修
		地学概論(実験を含む)	2	2	必修
小計	27単位	—	—	—	

合計	62単位	①、②の合計で62単位を修得すること。			
----	------	---------------------	--	--	--